

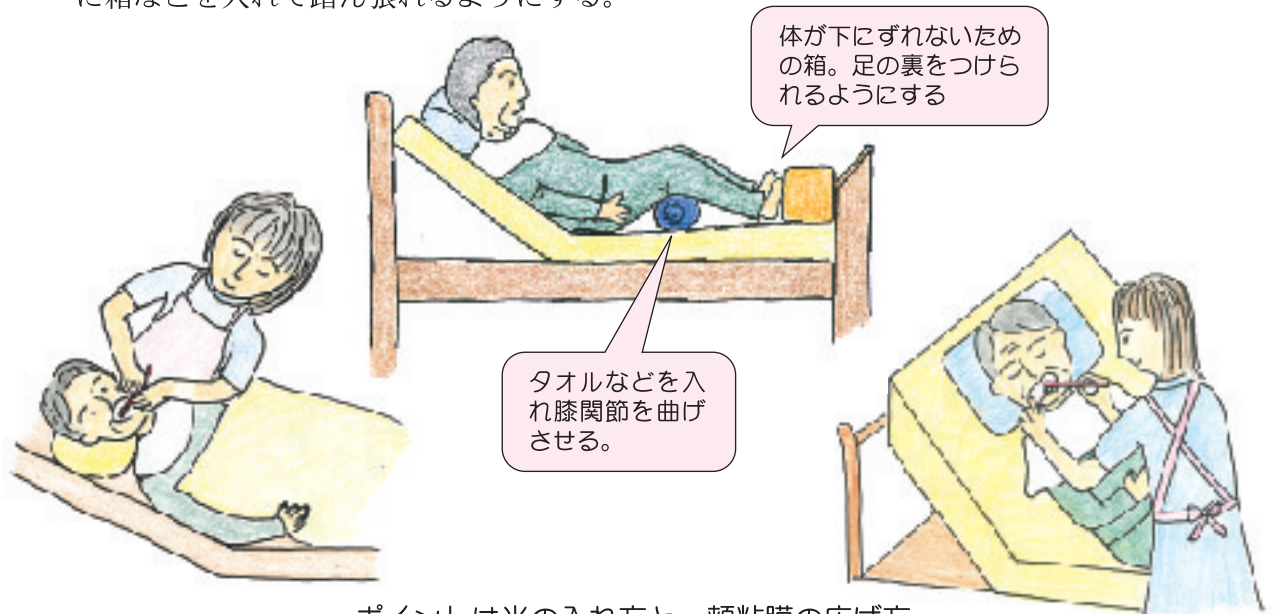
座位が取れない人

ファーラー位 (45~60度)

上半身を起こし座った状態が口腔ケアの基本の体位です。

※ほとんど体を起こせない場合は15~30度起こしたセミファーラー位が比較的誤嚥をおこしにくいです。(その場合、側臥位と組み合わせるとよいでしょう。)

- ① ベッドを起こし、体が傾いたり倒れたりしないよう安定させる。頭を固定し顎を引かせる。
- ② 誤嚥しないように顔と肩を横に向ける。
- ③ 体がずれていかないように、膝関節を曲げさせタオルなどで固定し、足の裏とベッドの間に箱などを入れて踏ん張れるようにする。



ポイントは光の入れ方と、頬粘膜の広げ方。
できるだけ口の中がよく見えるようにする。

上体を起こせない人

側臥位

- ① マヒのない側を下、マヒのある側を上に行う。
- ② 頭をやや下向きにさせ、顎が上がらないようにする。
- ③ 意識障害のある場合は、頭を固定して動かないようにすると安全。



仰臥位

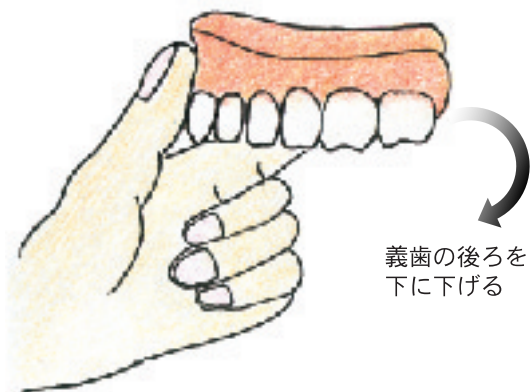
マヒのない側に顔を向け、顎を引かせる。



入れ歯を外す／入れる

😊 ちょっとしたコツを覚えれば難しくありません。

総入れ歯（全部床義歯）の外し方



上 顎

親指と人差し指で入れ歯の前歯部を持ち、後ろを上顎の粘膜から離すようにすると、空気が入って外しやすくなります。

下 顎

親指と人差し指で入れ歯の前歯部を持ち、舌を後方に位置させ、上方に持ち上げます。

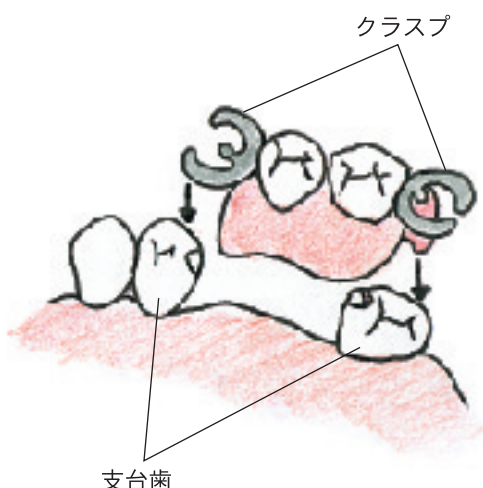
総入れ歯（全部床義歯）の入れ方



上顎・下顎

- ①指で口角を押し広げ、片側の後ろから入れ歯を回転させながら口の中に入れます。
- ②入れ歯が入ったら入れ歯の中央と顔の中央を合わせ、所定の位置まで指でしっかり圧接します。

部分入れ歯（部分床義歯）の外し方／入れ方



外し方

着脱可能な方向は決まっているので、無理に力を加えても外れません。また、クラスプ(金属の部分)が変形したり、痛みが出たりすることもあります。床(ピンク色の部分)の縁やクラスプに指をかけ、着脱可能な方向に力を加えて外します。

入れ方

大きい入れ歯は総入れ歯の方法と同じ。
小さい入れ歯は口の端を押し広げ、口腔内を観察しながら装着する部分に入れ歯を持っていきます。歯のない部分と入れ歯の歯、クラスプと支台歯との位置関係を確認し、所定の位置に入れます。